

## 第 48 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 26 年 8 月 22 日(金) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室
3. 委員の出席 委員総数 8 名  
出席委員 5 名  
出席委員の氏名 稲垣千秋、稲井信也、桑田政美、高谷和彦  
牧野直子  
以上 5 名  
放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)  
大平麻由美 (編成課長)  
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 1) 歳時記つれづれ  
2) 審議  
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

## 6. 審議内容

### 1) 番組

#### (1) 事務局より番組説明

今回は、毎週水曜日に放送しています「歳時記つれづれ」という番組を聴いていただきました。番組のスタート時からのことをざっとご説明いたしますと、タッキーが開局したのが1995年。その2年後、1997年から「俳句を楽しもう」という名前で始まりました。当時は、東條未英さんと宇多喜代子さんなど、北摂在住の著名俳人のかたがたが週替わりで番組に出演してくださっていました。また、毎年秋に箕面市観光協会が行っていた「明治の森箕面国定公園もみじまつり」で、箕面の紅葉を詠み込んだ俳句を募集する俳句大会「もみじ大賞」にも参加させていただいて、番組にご出演の先生がたが応募作品を選句し、講評を掲載した作品集を入賞者に贈呈するという取り組みも行っていました。その後、「もみじ大賞」は終了し、2007年に番組制作費の大幅な見直しを余儀なくされ、著名俳人のかたのご出演はなくなり、箕面在住だった東條未英さんの、「文化を伝える番組をボランティアでも続けたい」といった熱心なお気持ちに支えられ、「歳時記つれづれ」とタイトルを変えて継続してきました。週1回20分程度、午前中のワイド番組の中に、ゲスト的な形式で入っていただき、歳時記のお話をしてくださっています。また、月のうち2回、「タッキー句会」を実施しており、あらかじめ兼題を出してラジオで募集し、投句いただいた全ての俳句を、投句者全員にFAXし、選句を返送していただき、ラジオで結果を発表しています。今回お聴きいただいたのは、8月13日放送の、お盆を題材に話している内容です。それでは、ご意見よろしく願います。

#### (2) 審議

委員長：番組の説明を受けて、ご意見を頂戴したいと思います。それでは、よろしく願います。

委員A：とても聴きやすかったです。特にお盆にまつわる、伝統的な料理とか言葉とか、私たちが知らないことをいろいろ語られるのを聴いていると考

えることがありまして、知らない言葉もたくさん出てきて、鎮魂というか、亡くなったかたへの、この世には今見えないけれども、そういうことへの思いを馳せるという…俳句と言うから季語が出てくるんだろうとは思ってましたが、いろいろ知らないことを教えていただいたし、話をされているかたも、パーソナリティのかたと同じように、落ち着いた、きれいな日本語でお話になるので、とても聴きやすかったです。日本語の語彙がどんどん薄っぺらくなっているの、深い言葉の意味や、行事にまつわる話を通して、語彙が豊富な日本語を再認識しました。季節にまつわるいろいろな言葉というのは、季節感が無くなってきている今、特にそれを取り戻していくというか、気付かせてもらうチャンスになるかな、と思いました。

委員B：ひとくちで言うと非常に良い番組。20分があつという間に過ぎました。久しぶりに聴いたような感じでした。さすがベテラン、だと思いますが、癒し系の話し方で、パーソナリティもあまりでしゃばり過ぎないで、うまくコントロールされていると思いますし、雰囲気のある音楽も、構成も非常に良くて、制作意図がうまく引き出されていたと思います。こういう箕面在住の文化人や、学者のかたが、箕面の観光について語ろうとか、そういう箕面の「お宝」の人たちが、定期番組を持つかどうかは別として、番組に関わったら良いなという気持ちで聴かせていただきました。

委員長：私も、20分って短い…あつという間ですよ。普通なら30分とか1時間ですけど、20分っていうのはなぜですか。

事務局：ワイド番組内でCMや天気予報、交通情報などのコーナーを前後に一番時間が取れて、ゆっくり構成できる時間帯でした。

委員C：近年珍しい番組だと思います。「歳時記」をまず取り上げているということ。話を聴いているだけで画面が現れてくるようなところがあるから、もうこれはラジオじゃなくてテレビでやらなきゃいけないんじゃないか、という風に思うくらい興味をもちました。確かに20分というのは大変短い感じもするんですが。まあ、お盆でたいへんタイムリーなところもあ

ったし、生活していく上での起承転結みたいなことを伝えていく番組としてはたいへん貴重だと思います。で、良いのは東條さんが主導で話をされていたという点。それがたいへん良かったです。専門的なところでサポートの進行をやっていくのではなくて、ご自分でちゃんと番組をやっていかれたというのはたいへん良かった。

委員D：タッキー句会は40句が毎月来ると書いてありますが、これはほぼ固定の人じゃないのかな、と思うんですが、いかがですか？滝道への吟行はどれくらい…？

事務局：固定のかたがほとんどで、お一人2句です。吟行は10人ほどです。

委員D：まず時間的に20分だから良いんでしょうね。「もうちょっと」というところで。1時間ずっとやられたら、「もうええわ」となる。ああいうリラックスしたしゃべり方というのはそんなに長くは持たないと思います。あと、印象と提案的なことがあるんですが、今のコアの人ですね、投句をしている人とか僕らのように「聴くぞ」と思って聴く人以外にはあんまりおもしろくない番組じゃないのかな、という印象を受けたんですね。だけどですよ、だけど「タッキーだからできる番組」だと思います。というのは、今みなさんがおっしゃられたように、言葉とか、やっぱり古きを知るという人には、イメージが…昔を思い出したりとか、非常に懐かしいイメージがありましたね。やっぱり伝えるって大事な、というのを思わせる良い番組だと思います。季節感もありますし、歳時記の番組らしい、話し手も非常に良かったと思います。で、提案というかですね、一般のラジオでは「コアな人だけだったら辞めちゃえ」ということになるんでしょうけど、ある意味マニアックな、10人とか20人がいつも聴いているという番組、何かほかのテーマでもあるんじゃないかな、と。近いところで言うと川柳とかですね、それから歌劇ということもあるかもしれないし、昭和好き、民謡ファン、ラーメン食べ歩きとか、そういうテーマでも良いし、常に「これは聴かねば」というようなテーマを作っていく、ということも大事なのかなと。そうするとコアが20人でも常に聴いている人がいたら、それが5番組あれば100人になるわけですし、そういう手を打っていく必要があるのかな、という気がしました。

委員長：箕面で文化を嗜んでいるかたに協力していただいて番組をやっていく。  
制作費の削減など痛い中ですが、克服して、できるだけこういった番組を流していただく、努力していただく、ということもお願いいたします。

事務局：コアという部分で、ボランティアで取り組んでくださるかたへの説得ですね。  
この番組もボランティアでやってくださっています。

委員B：非常に良かったと思っているのは、僕なんか、全く俳句に興味が無いんですよ。でも、こういうコアな番組に必要なのは、全く興味ない人間でも、一応聴いてられると言うこと。話し手のキャラクターもあると思いますが、音楽をうまくはさんで20分。構成が良かった。こういうコアな番組、あるいはボランティア団体が制作する番組は、興味のない人が聴くとは辛いんですよ。だから、この番組を参考にして、聴いているコアな人たちと、それ以外の人たちもうまく引き込むような構成、これが多分プロの、タッキーの構成の腕の見せどころだと思います。そこをきちっとアドバイスしながらやっていくと、他の番組も発展できる。

委員長：良い意見をいただきました。番組を作る一つの新しいやり方だと思うので、心がけてやっていただけたら。

委員A：構成もそうですが、それ以上に、話し手が「伝えたいという思い」を持っていらっしゃる。事務局が制作意図で書いているように、無償の番組でも、「その番組を作りたいという熱意をもって取り組んでおられる人物の力を借りて」ということがすごく大事だと思うんです。その人の力を借りて、引き出して、番組に入っただくことによって、全然違ってくるんじゃないかと。他の、若い人に任せてしまっている番組で、何が言いたいのか、内々で盛り上がっている番組がたくさんあるので、そういう人たちも一緒に、何を伝えたいと思っているのかというのを一度学んでいただいて、日本語も、若い人は語彙が限られてしまっているの、形容詞も少ないし、こういうかたとの接点を作って、影響を与えられよ

うなことはできないかと思います。

委員C：話し手がもっとプロ的な意識に走ってしまうと、この番組が全然面白くなくなる。話し手の感性や経験、知識がこの番組を面白くさせているということ。これをどう制御していくかがタッキーの役割だと思います。

委員D：多分、この話し手は、キャラクターを自分で出せるんですよ。多くの方が、自分で出せない。というときに、どういう出し方をするか、それが構成であり、「プロ的な」ものではないか。

委員B：こういった番組の、箕面の文化人やアーティストのかたたちとのつどいが開けたらいいですね。番組の構成のステップアップにもなるし、市民のみなさんがタッキーに関心をもってもらえることにもつながる。その他、西川ヘレンさんの悪質詐欺の啓発コマーシャルはおもしろいですね。

委員長：そうですね。いろいろな意見をいただいた中で、タッキーらしいウリというか、目玉というか、「これはうちにまかしときや」というものがほしい時期になっていると思いますので、より一層頑張ってください。みなさん、貴重なご意見をありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 26 年 8 月 22 日

箕面FMまちそだて株式会社 番組審議会